

ギボウシラン

Liparis auriculata Blume

ラン科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

準絶滅危惧

選定理由

本県において、きわめて稀産の植物である。(現況:R-)

形態

茎は肥大した卵球形の偽球茎で節間は短縮し、普通広卵形長さ5~12cmの2枚の葉をつける。基部は心形、葉脈は上方に隆起し、脈間がくぼむ。花茎は高さ15~30cmで直立、帯白色~紫黒色の花を十数個つける。唇弁の先端は尖らず、基部に2個の、こぶ状突起がある。

国内分布

北海道~九州、屋久島に分布。朝鮮(濟州島)に分布する。

県内分布

南加賀区(白山麓)。

生態など

開花期は7~8月。

生育環境

常緑樹林の林床に生育。

危険要因

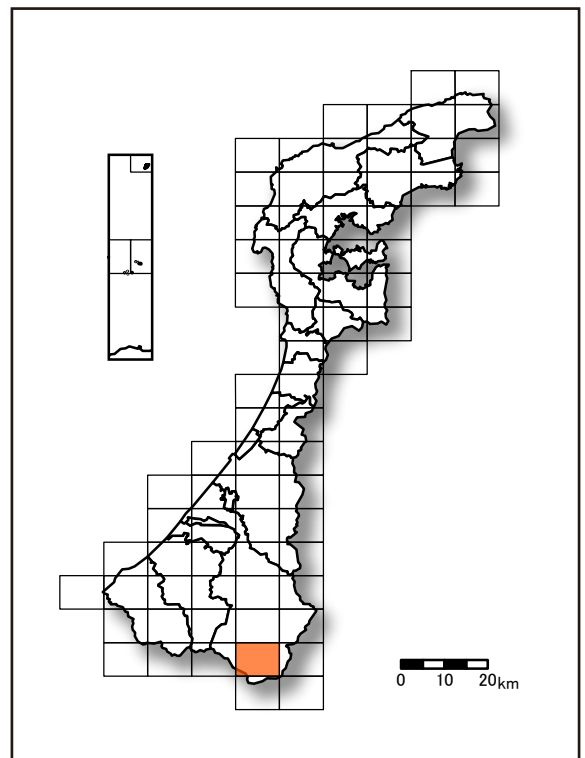
園芸採取。

特記事項

最近、県内での自生が確認された。



鳥嶋昭信



県内の分布